

令和4年度「素描(1年)」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	美術科	美術	素描	2	必修
教科書	つくる・見る・学ぶ 美術のきほん—美術資料 (京都市立芸術大学美術教育研究会、日本文教出版編集部)				
副教材					

学習の目的	
1	表現材料の特性について理解を深めるとともに、対象を深く観察して表現を工夫しながら的確に描写する基礎となる技能を身に付ける。
2	対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力等を育成する。
3	造形表現を追求する態度を養う。

学習の目標		評価割合
I 知識・技能	基本的な描写力を身につけ、技法の違いや効果、手順等を説明できる。	4
C 思考・判断・表現	素描を通して表現の基礎となる知識や技能を総合的に働かせて独創的に思考、判断し、表現できる。	4
E 学びに向かう力・人間性等	視覚表現が果たす社会的役割や関係性を理解し、新たな意味や価値を創造することができる。	2

つけた力	みつめる力	感じ取ったことや考えたことから、主題を生成し表現の構想を練る力
つけた力	きわめる力	発想や構想を基に、材料や用具を生かし、創造的に表す力
つけた力	つなげる力	造形の要素の働きを理解し、イメージや作風、様式などで捉える力

評価方法	I	C	E
◇ 主に作品の（途中段階、完成段階、）で知識及び技術の評価を行います。	○		
◇ クロッキーやワークシートを基に主題の捉え方、構図、表現の工夫等を評価します。	○	○	
◇ 進捗状況、自己評価等をもとに素描への関心・意欲・態度等を評価します。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等
◇ 実習が中心の授業となります。指示された画材は各自で準備してください。専門の道具などは指導者の指示に従い、注意して手入れしてください。
◇ 授業以外にも制作時間を十分にとって、完成度を高めてください。
◇ 内容に応じて、他の専門科目と展開授業を行います。
◇ 制作終了時に講評会を行います。講評の際はメモを用意してください。
◇ エスキースや資料集め、動画視聴等の予習が必要な場合があります。指示に従って事前準備をしてください。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I:知識 解	C:考 断現 表	E:学 び向 う・ 人 性 等
第1学期	5	鉛筆デッサン	木炭デッサンの基礎演習を通して、形を修正しながら描き進める姿勢を養う。		見ること、描くことの意味を考えよう	○	○	○
	6	静物画 (F15・油彩)	油絵の具の基本的な使い方、用具のメンテナンス等を学ぶ。		平面に空間を表現する意味を考えよう	○	○	○
	7			期末考査		○	○	○
第2学期	9	静物デッサン	鉛筆による基本的な描写力を身につける			○	○	
	10	木炭デッサン②(石膏像)	デッサンの姿勢や木炭の基本的な使い方を学ぶ。石膏像をクロッキーし、バランスの良い構図を考える習慣を身につける。デッサンスケール等の使用方法を学び、比率に関する理解を深める。明暗の調子、量感を感じ取る。	中間考査	見ること、描くことの意味を考えよう	○	○	○
	11			期末考査				
	12							
第3学期	1	木炭デッサン	デッサンの姿勢や木炭の基本的な使い方を学ぶ。石膏像をクロッキーし、バランスの良い構図を考える習慣を身につける。デッサンスケール等の使用方法を学び、比率に関する理解を深める。明暗の調子、量感を感じ取る。		自分自身の表現につながるデッサンをしよう	○	○	○
	2	卓上デッサン	油絵の具の基本的な使い方、用具のメンテナンス等を学ぶ。	学年末考査	自分自身の表現につながるデッサンをしよう	○	○	○
	3							

※行事等で変更になる場合があります。